

登場人物

死神・・・人間観察をして楽しんでいる。死を宣告した人間の最期の願いを叶えている
藤森琴音・・・盲目の女。哲夫と付き合っている
矢部哲夫・・・琴音の恋人。琴音にプロポーズしようとしている
高橋隆・・・哲夫の友人

1
オープニング

オープニング

死神〔NA〕私は無。この世に存在しない存在・・・。
私の仕事は命あるものにその終わりを告げること・・・。

2
とある道端

購うかそれとも受け入れるか・・・。
残された時間、決めるのは自分の意思・・・。
命あるものは私を死神と呼ぶ。」

アイバнковの活動少女、

死神〔NA〕盲目の少女前田琴音。今日もまた、彼女の魂を闇に返すのみ」

隆 「アイバнковに協力してください」

琴音 「闇に光を」

哲夫 「アイバнковに協力してください。最近琴音・・・元気ないね、なんかあった？」

琴音 「何にもないよ」

3
公園のベンチ

死神「いいのか。男に死ぬことを伝えなくて」
琴音「そうだね、なかなか言えなくて。勇気が出ないというか・・・だめだね私。今更だけど、一人になるのが怖くて」
死神「・・・」
琴音「そうだ、こんなとき死神さんだったらどうする？」
死神「・・・残された時間はお前のものだ。購うか、受け入れるか、それはおまえ自身が決める」

彼氏登場

哲夫「ジュース買って来たよ」
歩いてくる男二人

隆 「あ、俺ちよつと用事あるから。あとでな」

哲夫「おう」

4
公園のベンチ 二人の会話

哲夫「さつきも話してたけどさ、最近琴音元気ないよな」

琴音「そ、そうかな。私はいつもと変わらないよ」

哲夫「ならいいんだけどさ」

琴音「てっちゃん、ちゃんとした人と結婚してほしいな」

哲夫「何言ってるんだよ、急に。俺は琴音の目になればいいんだよ。琴音のことが好きなんだから」

琴音「でも、てっちゃんには幸せになってほしいんだよ。私は目が見えないんだよ・・・。目が見える人と結婚してほしいな」

哲夫「俺は琴音と一緒にいらればそれでいいんだよ」

沈黙

哲夫「あ、そうだ、日曜日に海でもいこうよ。気分転換になると思うよ」

5
 哲夫居酒屋などもしくは公園ベンチ
 友人と哲夫が話している

琴音「うん」
 沈黙
 隆 「お前簡単に言うけど、目が見えない女の子と結婚するの
 って大変だぜ」
 哲夫「わかってるよそんなこと・・・だけど俺、琴音の目にな
 りたいんだよ」
 隆 「・・・俺に出来ることがあったらなんでも協力するよ。
 ・・・・俺にとって2人が幸せになることが、俺の幸せな
 んだ」
 哲夫「・・・俺もお前が一番の親友だよ」

6
 琴音の部屋概観
 琴音の部屋概観

7
 琴音部屋
 死神と会話をしている琴音
 琴音「どうしよう死神さん・・・。てっちゃんにプロポーズさ
 れたら」
 死神「・・・」
 琴音「もしも私が。もしも目が見える人生だったら。もつと違
 う人生だったのかな」
 死神「・・・覗いてみるか」
 琴音「ううん。今のままで十分。いきなり目が見えてもおっか
 ないもん。ちなみに、望みを言わないとどうなっちゃう
 の？」

8
 空実景
 空実景
 座っている二人

9
 海
 哲夫「海ってなんかいいよな・・・」
 琴音「うん」

9
 哲夫「思いを遂げられないものは、成仏しないままこの世に残
 るだけ・・・」
 琴音「そっか・・・じゃあ死神さん。何かを望んで死んだらど
 うなるの？」
 死神「・・・無だ。闇の一部になるだけだ」
 琴音「そっか・・・今とかわらないんだね」
 二人沈黙
 哲夫「・・・そっか(うれしそうにして)しかし海ってきれいだ
 よな」
 琴音「・・・そんなにきれい海。わたしも一度みてみたいな」
 死神「(声のみ)お前の望み叶えてやる」

10

海 寄り添う二人

ぼやけながらうつすら見える海 きれいな景色
寄り添う二人

寄り添う二人 事切れる琴音

それを背に歩き出す死神と琴音

琴音「海ってきれいなんだね・・・最後に思い出ができるなんて・・・」

死神「・・・そんなもんだ」

END